

# 小浜市飯盛地区 - 山ぎわの水田・水路・ため池 -



山ぎわの農地



樹木に囲まれた川

**選 定 理 由** ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

**県レッドデータブック掲載種数：** 24種（面積約120ha）

<b>自然の概要</b>	海に面した平野部と丘陵地の接する地域で、山ぎわの休耕田にはミズオオバコなどの水生植物が生育しています。また、ため池にはキトンボやクロヨシノボリ(魚類)、山ぎわの水路にはゲンバイトンボが生息しています。
<b>保全すべき主な環境</b>	山田、小川（山ぎわの水路）、ため池
<b>もっと詳しく知りたい人へ</b>	福井県のすぐれた自然動物編,p251 [小浜市岡津、加戸、荒木のトンボ類]

## 該当地の位置



## 里の生き物紹介 ゲンバイトンボ（トンボ目モノサシトンボ科）

体長36～39mmのモノサシトンボの仲間で、平地や丘陵地の植生豊かな清流に生息し、流れの穏やかな河川の中流や、湧水が流れこむ水路にもしばしば見られます。雄は脚の一部が、白く大きく広がっており、このようすから軍配トンボと名付けられたようです。

成虫は5～8月に見られ、初夏には最も良く見られます。

国内では、宮城県以南の本州～九州に分布しますが、生息地は局地的で、近年急速に減少しています。また、県内では小浜市～大飯町で確認されていますが、これが日本海側の分布の東限とされており、貴重な存在です。

## 保全すべき環境に生息・生育している生物



ゲンバイトンボ  
県域絶滅危惧 類  
水草の多い清流に生息



ホソミイトンボ  
県域絶滅危惧 類  
池沼、湿地に生息する。  
未熟成虫の生活場所となる  
周辺の樹林や草地が必  
要



ダルマガエル  
県域絶滅危惧 類  
水田、水路に生息



ミズオオバコ  
県域準絶滅危惧  
ため池、水路、水田に生  
育



キトンボ  
要注目  
平地や丘陵地の樹林に囲  
まれた池沼に生息